

乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報

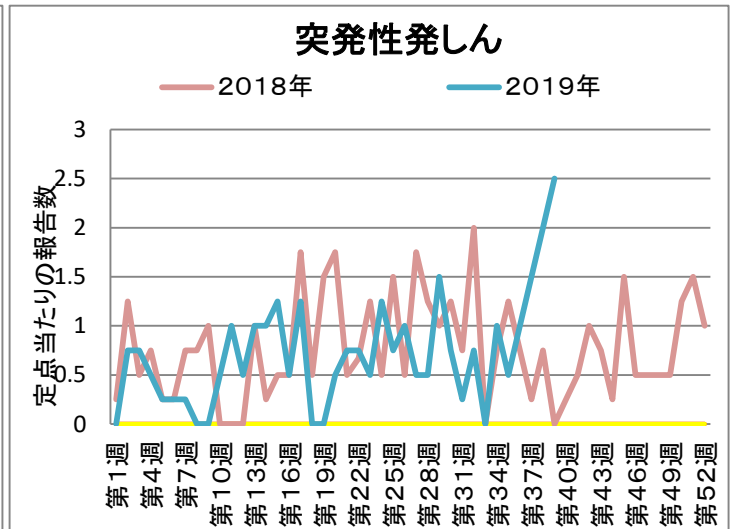
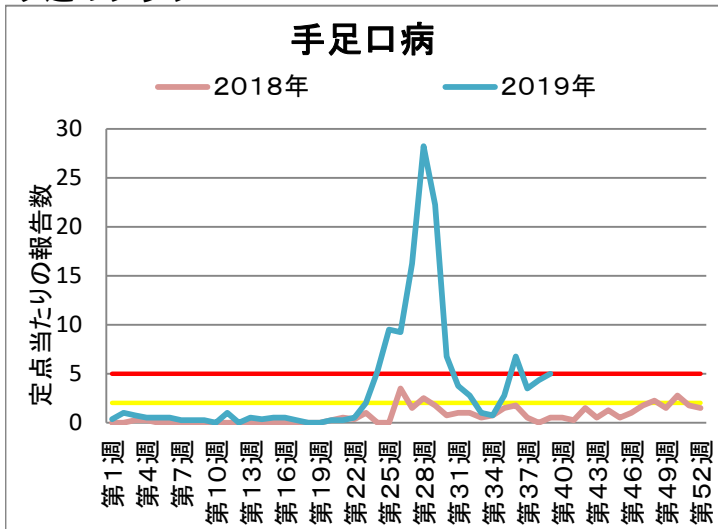
(インフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点、全数報告)

第 39 週 2019年9月23日 ~ 2019年9月29日

今週のコメント

- 手足口病の報告数は、夏休み終了後再度増加しています(定点あたり5.00)。この疾患は手のひら・足底・口腔粘膜に水疱性発疹が出るウイルス疾患で、患者の過半数は2歳以下です。予防には有症状時の飛沫感染予防と、日頃からの手洗いが大切です。
- 突発性発しんの報告数が増加しました(定点あたり2.50)。この疾患は乳児と1歳児が患者の99%を占めます。突然3日間程度38度以上発熱し、解熱前後に鮮紅色の斑丘疹が体幹を中心に顔面、四肢に数日間出現する、ウイルス感染症です。予後は一般に良好です。
- RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、伝染性紅斑の報告数も、やや高値です。
- 結核、急性弛緩性麻痺、梅毒の報告が各1例ずつありました。

今週のグラフ



* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	-	伝染性紅斑	1.25
RSウイルス感染症	1.50	突発性発しん	2.50
咽頭結膜熱	2.00	ヘルパンギーナ	0.75
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.75	流行性耳下腺炎	-
感染性胃腸炎	8.25	急性出血性結膜炎	-
水痘	0.75	流行性角結膜炎	-
手足口病	5.00		

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

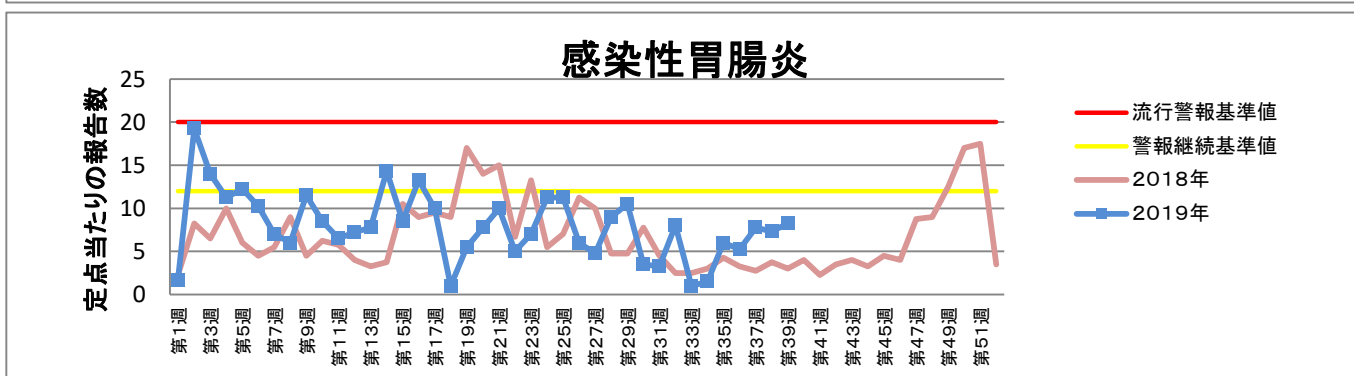
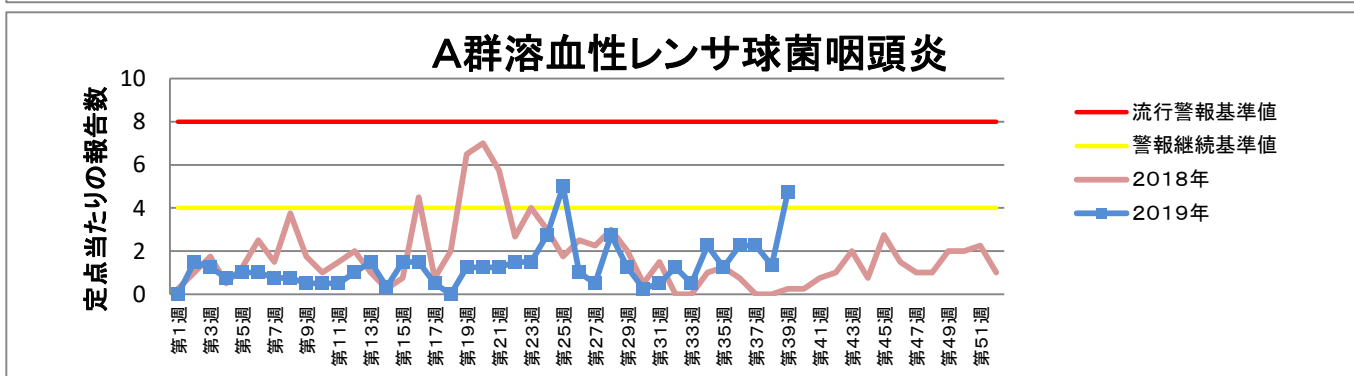
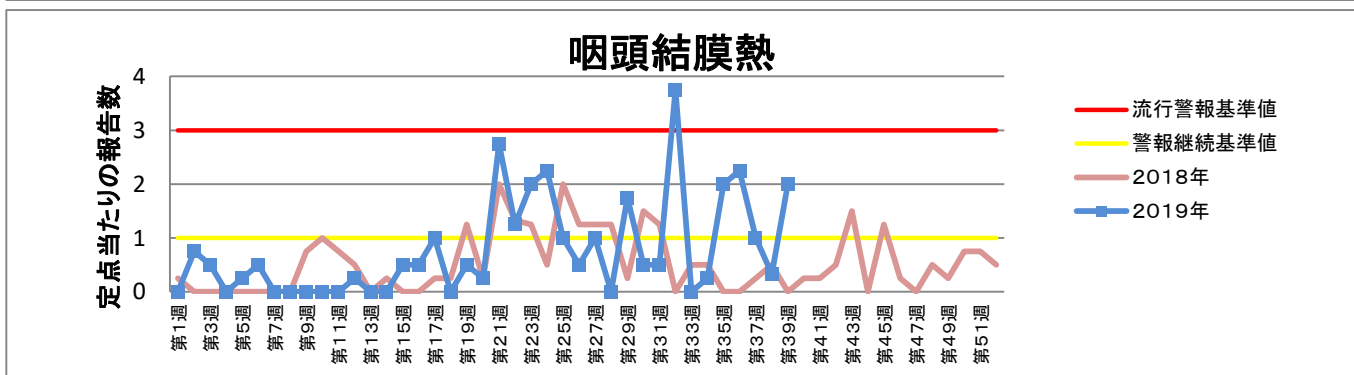
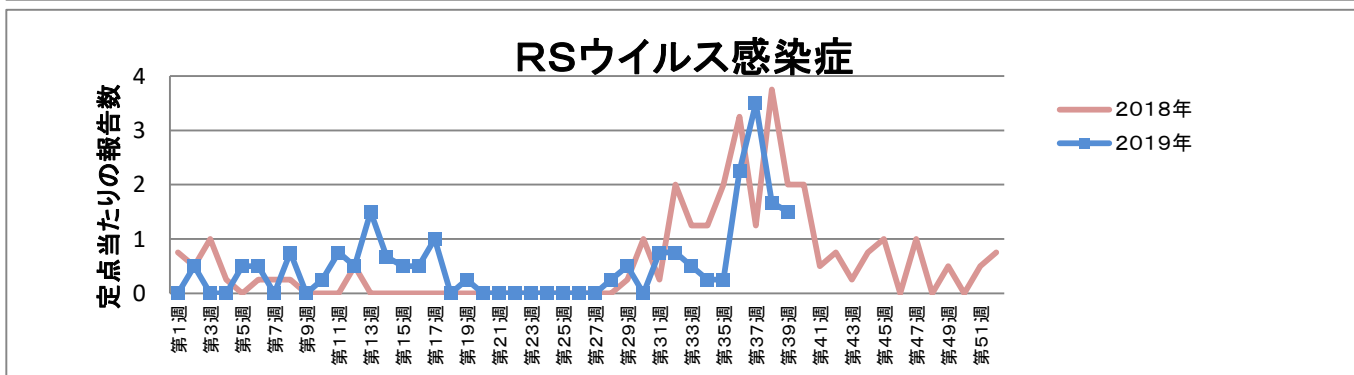
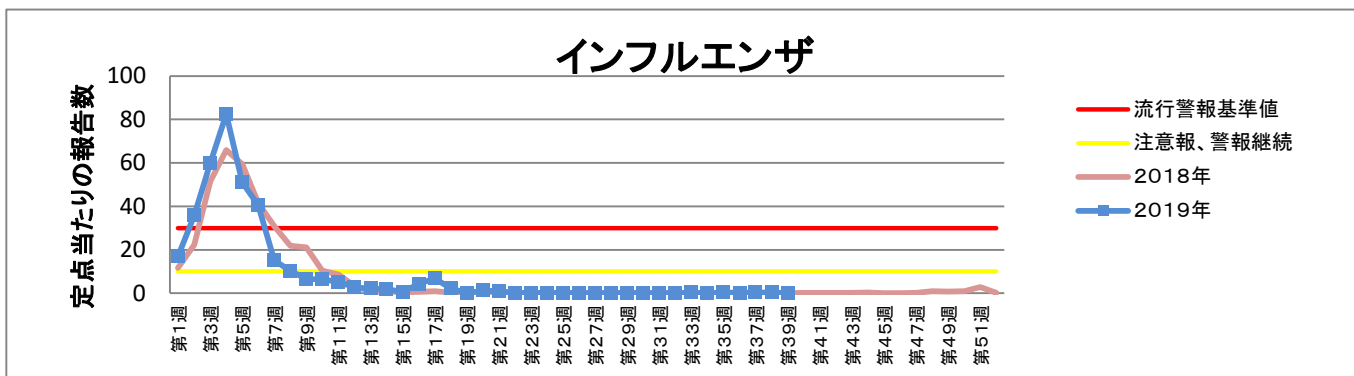
- * 乙訓管内 インフルエンザ定点 : 7箇所
- 小児科定点 (インフルエンザ以外の疾病) : 4箇所
- 眼科定点 : 1箇所

参考資料等

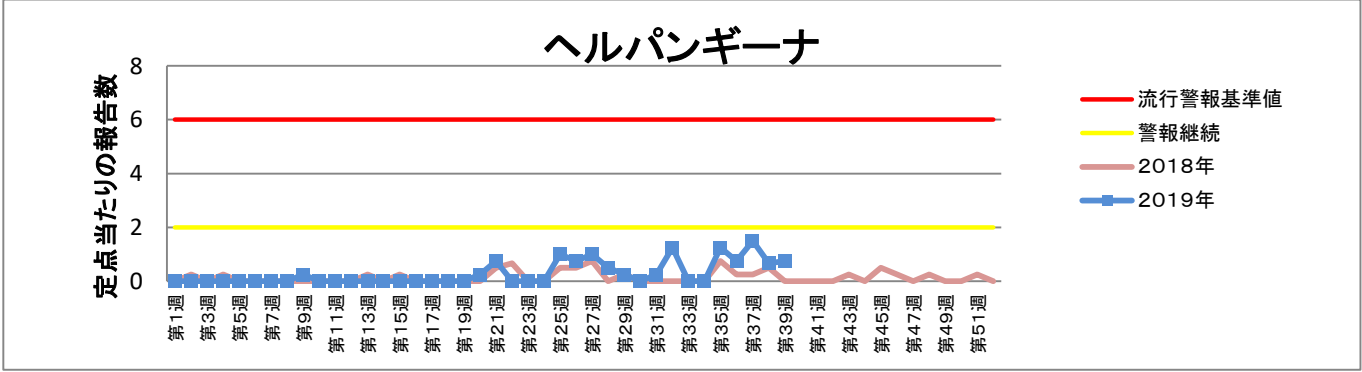
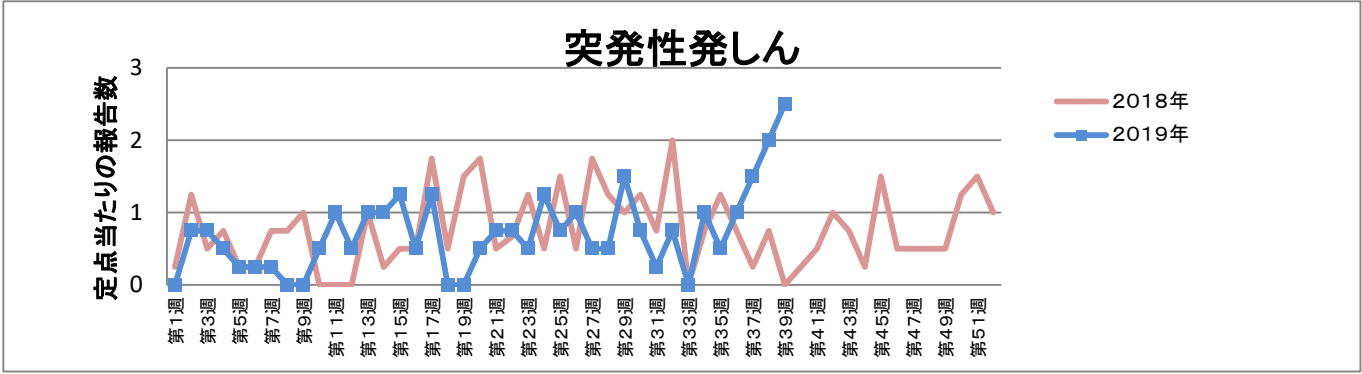
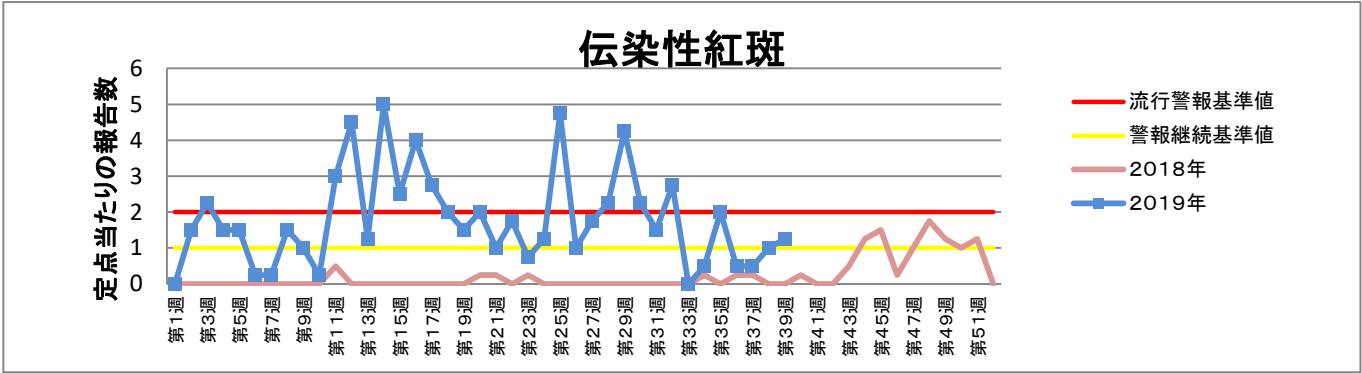
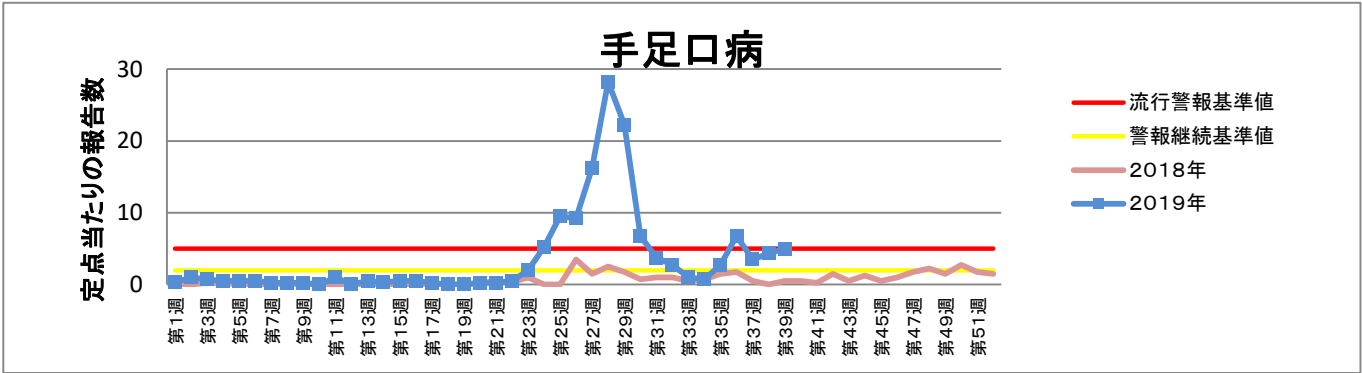
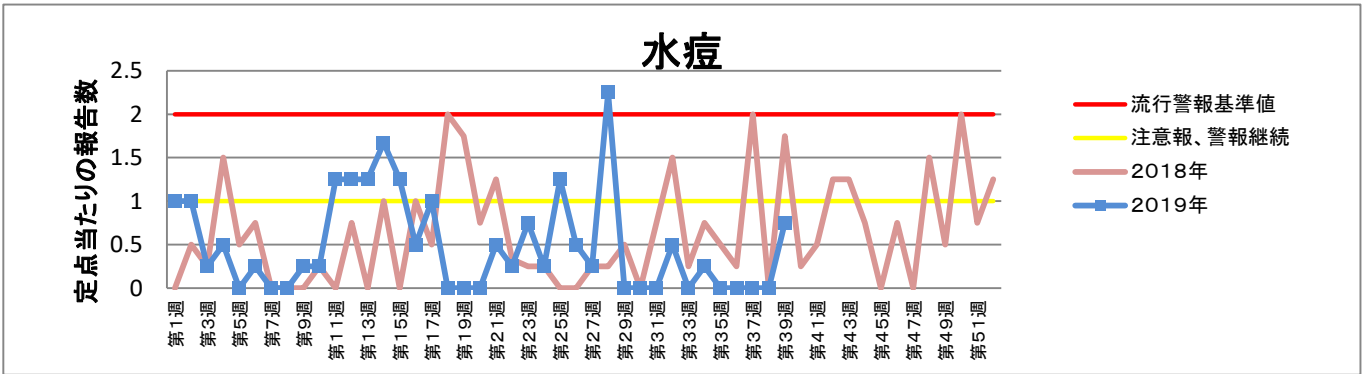
報告週対応表 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

1~4類、5類全数報告疾病
結核(1人)、急性弛緩性麻痺(1人)、梅毒(1人)

乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

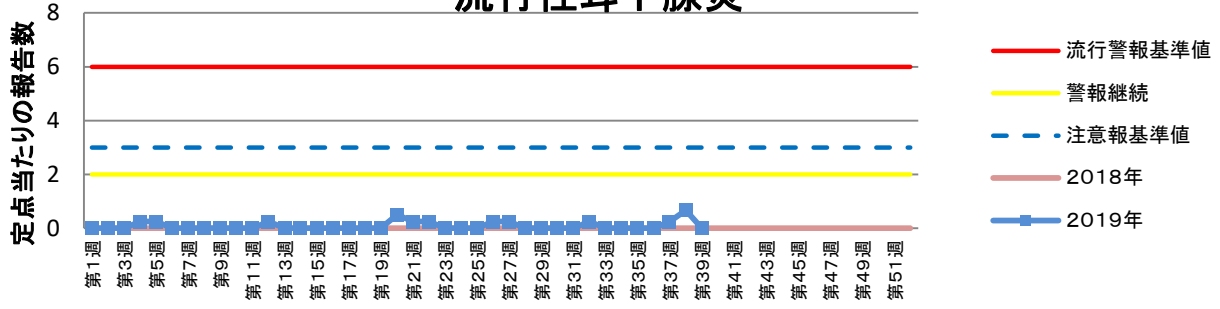


乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

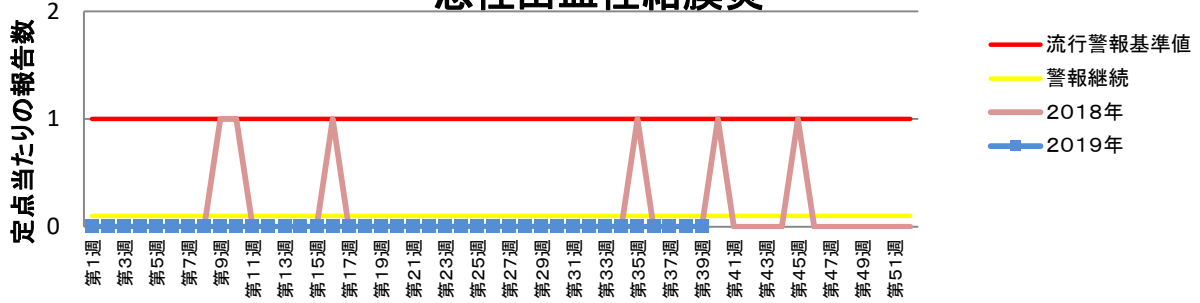


乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎

